



かながわミュージアムマップ 2017-2018 湘南・西湘特集

KANAGAWA Museum map

神奈川県博物館協会

神奈川県内で活動する博物館が、相互の連絡をはかり、博物館活動の振興に努め、また学術文化の進展に寄与することを目的として設立しました。

活動の主な内容

- 1. 博物館相互の連絡と連携、情報交換
2. 博物館事業に関する調査研究
3. 研究会、研修会、映画会等の開催
4. 機関誌の発行
5. 共同事業の企画、促進

本年度より大幅にリニューアルを致しました。2017年発行の「ぐるりかながわミュージアムマップ」では湘南、西湘地区の特集記事を掲載しております。

次回はい川崎・県央・三浦地域の特集を予定しております。



表紙の写真は「新江ノ島水族館」より
上：相模湾大水槽、中：クラゲファンタジーホール、下：オオカミオウ
発行：神奈川県博物館協会
〒231-0006
横浜市中区南仲通 5-60 神奈川県歴史博物館内
TEL:045-201-0926 FAX:045-201-7364
E-mail: kanagawa-kenpakukyo@dolphin.ocn.ne.jp

twitter.com/kngw_kenpakukyo

2017年11月11日発行
印刷：(株) 旭クリエイティブ

湘南

69 遊行寺宝物館 仏教美術と時衆史を中心に企画展開催中

当館は鎌倉時代の念仏僧一遍が開祖となる時宗の総本山清浄光寺(俗称:遊行寺)が設立し1977年に開館した美術博物館です。

62 江島神社奉安殿 弁財天信仰の発信

日本三大弁財天のひとつに数えられる八臂弁財天、妙音弁財天二軀を奉祀する奉安殿は、1970年に造営されてより多くの拝観者を迎えてまいりました。

66 大磯町郷土資料館

郷土資料館では、大磯と周辺地域を含む豊かな風土の揺りかご「湘南の丘陵と海」というテーマとしてとらえ、1988年10月の開館以来、活動を進めてきました。

71 寒川神社 方徳資料館 日本文化と方位除信仰の歴史

相模国一宮として古来より崇敬を集める寒川神社は、関八州の裏鬼門に位置する所から、八方除の守護神としても信仰されています。

61 新江ノ島水族館 わくわくドキドキ冒険水族館

相模湾に面し、右手に富士山、左手に江の島を望む抜群のロケーション。目前の海を再現した「相模湾大水槽」では、美しいマイワシの群泳を観察できます。

63 茅ヶ崎市美術館 別荘地の面影を残す緑地にある美術館

茅ヶ崎市美術館が立地するこの地には、かつて、オッペケペー節で知られる明治時代の新劇俳優・川上音二郎、貞奴夫妻の居宅(萬松園)が建てられ、その後、実業家・原安三郎が別荘を構えていました。

64 茅ヶ崎市文化資料館 湘南の地域博物館のさきがけ

1971年に開館した茅ヶ崎市文化資料館は、茅ヶ崎の自然や歴史・文化について、市民ボランティアと協力しながら調べ、資料を集めて守り、展示会やワークショップなどを開催しています。

59 日本大学生物資源科学部博物館 無料で学べる大学博物館

家畜・大型野生動物の骨格・剥製標本、昆虫・植物・海洋生物標本、古農具、生きたセイヨウミツバチの集作り観察コーナーや海洋生物の生体展示等、さまざまな学部関連資料を常設展示しています。

68 秦野市立桜土手古墳展示館 秦野の魅力たっぷり紹介!

本物の古墳が見られる公園で、しかも博物館が隣にあり、実際に出来た遺物を解説付きで見学できるところは、実は県内にもあまりありません。

67 三之宮郷土博物館 古代文化発祥の地へ遺物から太古を偲ぶ

当地(三ノ宮・粟原)周辺では360基を越える古墳が確認され、考古学の大先輩・坪井正二郎博士や大場器雄博士等も発掘調査に関わり、古代文化発祥の地といわれています。

65 平塚市博物館 入口展示コーナー「博物館へようこそ」

平塚市博物館には、1976年の開館以来多くの資料が集められてきました。それらの資料を、調べたり、比べて、読みとったりすることで、私たちは自分の住んでいるまちの歴史や自然の様子を知ることができます。

60-1 藤沢市生涯学習部郷土歴史課 60-2 藤澤浮世絵館

郷土資料の観点から収集した、藤沢市に関係の深い旧東海道藤沢宿や江の島を描いた浮世絵や、東海道に関連する資料を展示しています。

60-3 藤沢市ふじさわ宿交流館

藤沢宿は、江戸時代には旧東海道の宿場町として、大山詣や江の島詣をする人々の交通の要衝としてにぎわいました。ふじさわ宿交流館は、藤沢の歴史や文化に触れ、人々が交流できる場となっています。

58 藤沢市湘南台文化センター子ども館 宇宙や未来への夢を広げる子ども館

子ども館には、宇宙劇場、展示ホール、ワークショップの3つがあり、様々な事業を開催しています。宇宙劇場では、通常の星空の投影のほか、アロマプラネタリウムやコンサート等を開催しています。

70 松前記念館(東海大学歴史と未来の博物館) 私学の建学の理念を守り伝える博物館

学内の博物館ですが、どなたでも利用できます。1階は常設展示コーナーで、創立者が発明した無線ケーブル通信方式などの理工系資料や学園の歴史に関わるデンマークの教育などを展示しています。

西湘

84 ANTIQUE MUSEUM 江戸民具街道 体感してほしい、民具の心遣いと美しさ

昨年、おかげさまで開館20周年を迎えました。実物を見て・触って・体験していただくという開館当初からのコンセプトをより深く、民具に込められた先人の知恵と思いのり、素晴らしい技術とその美しさ、そして、そのおもしろさを感じていただくべく、活動してきました。

73 小田原市郷土文化館 旧石器時代から現代までの小田原を知る

海・山など豊かな自然環境に恵まれ、城下町・宿場町としても栄えた小田原で、1955年に開館した当館では、旧石器時代から現代までの小田原の歴史や民俗、自然に関する資料を展示しています。

72 小田原市尊徳記念館・二宮尊徳生家

小田原市尊徳記念館は、江戸時代後期に栢村山(現小田原市栢山)に生まれ、少年期の苦難を克服し、荒廃した各地の農村の復興に尽力した二宮尊徳(金次郎)を顕彰する施設です。

85 小田原城 天守閣と常盤木門 SAMURAI 館

小田原城天守閣は、2016年5月にリニューアルオープンしました。展示も一新し、ストーリー性のある展示で小田原城の歴史を紹介しています。

75 神奈川県立生命の星・地球博物館 見て触れて、地球を体感する博物館

当館は、自然史資料を「集める、調べる、伝える」という基本的な博物館の役割に基づいた活動を行っています。特に展示については、基本テーマ「生命の星・地球」のもとに、46億年にわたる地球の壮大な歴史や生命の多様性、神奈川の自然、自然と人間のかわかりを「地球」「生命」「神奈川の自然」「自然との共生」の4つの総合展示室と、ジャンボブック展示室でわかりやすく展示しています。

80 彫刻の森美術館

1969年に開館した国内初の野外美術館です。7万㎡の広大な敷地内には、ロダン、ムーア、ミロなど近現代を代表する国内外の巨匠の作品120点余りを展示しています。

88 箱根ジオミュージアム 箱根の魅力をぎゅっと凝縮!

火山の不思議や自然の魅力をたっぷり味わえるミュージアムです。箱根火山の中央に位置する大涌谷に2014年に開館しました。火山を知ると新しい箱根に出会えます。

87 箱根写真美術館 富士に出逢える隠れ家美術館

箱根出身・在住の写真家のアトリエ兼ギャラリーとして2002年に開館した小美術館。作家ゆかりの地で、月光で撮影された幻想的な富士の作品とゆっくり対峙できるように建築、展示空間にもこだわっています。

82 箱根神社宝物殿 神社創建1260年の歴史を伝える宝物殿

箱根神社宝物殿は、神社伝来の彫刻・絵画・古文書・刀剣・祭具等を収蔵展示する博物館施設です。主な収蔵品には平安時代の男神坐像・女神坐像(重文)、万巻上人坐像(重文)をはじめ鎌倉時代の箱根権現縁起(重文)や湯釜・浴釜釜蓋(重文)、また北条早雲、織田信長、豊臣秀吉等の戦国武将の書状など箱根神社の歴史と文化を伝える貴重な史料が伝えられています。

79 箱根町立郷土資料館 歴史を知ると、箱根はもっと面白い!

箱根湯本駅から徒歩5分の場所にある当館は、現在の国際観光地となるまでの観光地化の歴史をテーマに展示しています。湯治から物見遊山と利用形態が多様化した江戸時代の「箱根七湯」から、新たな交通機関が敷設されて次々と温泉場が開発され、「十七湯」にまで発展した箱根の近代化の歴史と、箱根と外国人とのかわかりなどを紹介しています。

86 箱根町立箱根湿生花園 美しい花と出会う場所

箱根湿生花園は、湿原をはじめとして川や湖沼などの水湿地に生息している植物を中心にした生態園です。園内には、日本各地に点在している湿地帯の植物200種のほか、草原や林、高山植物1,100種が集められ、その他、珍しい外国の山草も四季、約1,700種の植物が4ヶ月に花を咲かせます。

83 箱根町立森のふれあい館

森のふれあい館は、動物物の展示をおとし、自然のすばらしさを、森林の大切さを、楽しみながら理解していただくための施設です。木の実を使った楽しいクラフト体験が人気です。またクイズを解きながら園内を散策するウォークラリーや、ガイドと一緒に森を散策する楽習教室(GWや夏休みの土日など)も開催します。

81 箱根美術館 日本古陶磁器と国登録記念物の庭園

箱根町強羅に1952年に開館した箱根美術館は、岡田茂吉によって作られ、縄文土器や埴輪、鎌倉・室町時代の壺、桃山時代の茶陶、江戸時代の色絵磁器など、日本の古陶磁器を中心に約100点を展示しています。

74 報徳博物館

現在の小田原市栢山の農家に生まれた二宮金次郎尊徳(1787-1856)は勉学と実践を積んで練り上げた独自の思想をもとに、北関東を主として約600か村の復興に尽力したほか、窮乏した個人の家の再生にも数多く携わりました。

77 真鶴町立中川一政美術館

真鶴町にアトリエを構え、戦後の日本洋画壇で中心的存在として活躍し、文化勲章受章者でもあの中川一政画伯より約600点の作品の寄贈を受け、1989年に開館した美術館です。緑あふれる真鶴半島自然公園の中に位置する当美術館では、油彩、水墨画、書、陶芸、本の装丁といった画伯自身の作品と、画伯が生前に収集した東西の優れた美術コレクションの中から常時約80点〜90点の作品を展示しています。

76 真鶴町立遠藤貝類博物館 貝を通して海を知ろう

真鶴町出身の貝類研究者、故遠藤晴雄氏が収集した4,500種50,000点に及ぶ標本を中心に、海の生き物に関する展示を行っています。ずらりと並んだコレクションの中でも、特に圧巻なのが「生きた化石」と呼ばれるオキナエビ類で、現生する30種のうち27種を展示しています。

78 町立湯河原美術館 湯河原を愛した画家たちの饗宴

古くから温泉保養地として知られる湯河原は、明治以降多くの文人墨客が訪れています。当館は、竹内栖鳳や安井曾太郎等が逗留した老舗旅館を改装し、湯河原にゆかりの作品を保存、展示しています。また、「平松礼二館」では現在活躍中の日本画家・平松礼二の作品を企画展、特別展で紹介しています。

2017年10月には平松礼二のアトリエを公開する事業がスタートしました。作品制作の現場をご覧いただける貴重な機会になると思います。

※記載してありますNo.は裏面の館情報No.と一致しています。